

## 臨時部会にお諮りする課題の検討状況

### 1. 遠隔コミュニケーション準備 WG のメンバー募集、及び、WG への格上げ支援

資料 3-1 のようなものを、BRICK's と作成中。

### 2. 協議会創立 20 周年記念イベント企画構想

開催時期:

・2023 年 1 月下旬～2 月上旬(GCP 協議会シンポジウム:2 月下旬～)で検討中。

開催場所:

- ・大阪市内のホテルとするか、けいはんなプラザとするか、検討中。
- ・現在、大阪市内のホテル候補を収集中。
- ・交通の便が良く、費用も安く抑えられるホテルをご存じであれば、ご提案いただけないでしょうか。

開催方法:

・コロナ禍が収束するか不透明ではあるが、現時点ではリアル開催とし、開催の様子をアーカイブ配信する形とすることを検討中。

開催時間:

・10 周年記念シンポジウム(資料 3-2)と同様の、13:00～17:30 とする方向で検討中。

開催内容(プログラム):

- ・10 周年記念シンポジウム(資料 2-3)と同内容のフルスペックとはせず、パネルディスカッションは「講演」または「協議会活動の歩み」に割り当てる方向で検討中。以下のプログラムを検討中。
- ・パネルディスカッションで議論頂くよりは、基調講演等の講演に多くの時間を使う方が、会員の方々に有益なのではないか。

#### 10 周年記念シンポジウム

基調講演

特別講演

協議会活動の歩み

パネルディスカッション

交流会(17:30～18:30)

#### 20 周年記念シンポジウム

基調講演

特別講演

協議会活動の歩み

交流会(17:30～18:30)

開催費用: 予算額はオンライン開催を前提としており、900,000 円を見込んでいるが、リアル開催でフルスペックの場合、予算額をオーバーする可能性が高い。(10 周年記念シンポジウムは、交流会を含め、1,632,604 円であった。リアルでアーカイブ配信も行くと、200 万円くらいになると思われる。) 昨年度の事業費予算額:3,050,000 円に対し、決算額:1,824,479 円であったことから、ある程度は、差金利用を見込めるが、不足分を賄えるかは不透明。WG 活動支援費以外で、差金を見込めるのは、多くて 30～40 万円程度と思われる。一方、予備費は、約 246 万円となっており、予備費から充当するのであれば、賄うことは可能。

基調講演: 候補 1 と候補 2 の 2 案で検討中

候補 1: 以下の総会資料内容

テーマ: 「ICTの過去を見据えて未来を展望する」、「ICTの過去の検証と未来予想図」など

内容:

- ・創設当時を知る講師を招く
- ・20年前の予想と現在との比較・予想の検証
- ・これまでのWGの成果がどのように活かされているか
- ・20年後の未来予想(2025大阪・関西万博の通過点も含めて)

候補2: 候補1は協議会活動の歩みで講演いただくとして、新たにテーマを設定

内容案:

- ・関西経済と万博への期待について話して頂ける方を選んではどうか。
- ・そういった方をご紹介頂けないでしょうか。

特別講演:

内容案:

- ・万博協会から、多言語翻訳技術や XR 技術への期待について、ご講演頂いてはどうか。

協議会活動の歩み(資料 3-3):

内容:

- ・WG の変遷から、成果を残す形で終了した WG の主査に、どのような成果が生まれ、現在、どのように活用されているかご講演いただく。
- ・例えば、高機能ネットワーク分科会(新世代ネットワーク分科会、IoT ネットワーク基盤分科会)からお一人、ヒューマンコミュニケーション分科会(ユニバーサルコミュニケーション分科会)とネットワークロボット分科会(ユビキタスネットワークロボット専門委員会)から一人の計二人を選んではどうか。

以上